

生成 AI モデル内部のリスクを再学習なしで低減する マシンラーニングプラットフォーム「Hirundo」が Interop Tokyo 2026 にて Best of Show Award 審査員特別賞を受賞

2026 年 6 月 15 日

株式会社アズジェント

(東証スタンダード・コード番号 4288)

セキュリティソリューションの提供を主業務とする株式会社アズジェント（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：杉本隆洋、東証スタンダード：4288、以下、アズジェント）は、Interop Tokyo 2026（2026 年 6 月 10 日～12 日 幕張メッセ）において、アズジェントが提供するマシンラーニングプラットフォーム「Hirundo」が Best of Show Award セキュリティ（For AI）部門 審査員特別賞を受賞しましたのでお知らせします。

尚、アズジェントの受賞は今回で 2018 年より 8 回連続の受賞※となります。



【Best of Show Award】

Best of Show Award は、Interop Tokyo に出展する企業各社からエントリーされる選りすぐりの新製品を、有力メディア各社のキーマンと学術界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定するアワードです。数多くのエントリーからファイナリスト審査会を経て会期当日の本審査まで行われ、各部門の受賞製品が決定されます。

Interop Tokyo 2026 では、250 を超える新製品／サービスがエントリーし、5 月 29 日に行われたファイナリスト審査会にて、計 25 部門 94 製品／サービスがファイナリストに選出されました。

【審査員コメント】

生成 AI の出力結果に対するガードレールの製品は増えていますが、生成 AI モデルそのものを診断、修正することで、情報漏洩やハルシネーション、バイアスを排除する新規性を評価しました。競争が激化する生成 AI へのセキュリティ対策として、従来と異なるアプローチ示したことは重要と考えます。

開発者が参加し、審査へ真摯に対応するプレゼンテーションも評価しました。

【Hirundo】

Hirundo は、生成 AI モデルに残る不要な知識や望ましくない挙動にモデルレベルでアプローチし、ハルシネーション、情報漏えい、バイアス、ジェイルブレイクなどのリスク低減を図るマシンラーニングプラットフォームです。従来のガードレールや出力フィルタだけに依存するのではなく、学習済みモデルの重みや挙動に対して対象を絞った修正を行うことで、再学習に伴う時間・コストを抑えながら、生成 AI モデルそのものの信頼性向上を可能にします。

Hirundo は、生成 AI モデルのリスクを可視化し、モデル内部の不要な挙動を低減することで、企業における生成 AI の実運用に求められる品質と信頼性の確保に貢献します。

製品詳細：<https://www.asgent.co.jp/products/hirundo.html>

アズジェントは、今後も急速に進化するセキュリティ技術の潮流を見据え、常に時代の一步先を行くソリューションの提供に取り組んでまいります。

※ 2020 年はコロナ禍のため中止

【アズジェント会社概要】

会社名： 株式会社アズジェント（Asgent, Inc.）
所在地： 〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4
代表取締役社長： 杉本 隆洋（すぎもと たかひろ）
TEL： 03-6853-7401（代表）
資本金： 7 億 7,111 万円
取引銀行： みずほ銀行、三井住友銀行 他

【記事ご掲載の際の読者からのお問い合わせ先】

株式会社アズジェント
〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4
TEL：03-6853-7402 E-mail：info@asgent.co.jp URL：https://www.asgent.co.jp/

【報道資料についてのお問い合わせ先】

株式会社アズジェント 広報担当 横田 TEL：03-6853-7417 E-mail：yokota@asgent.co.jp